

書館として困ることがあります。レファレンス件数の増大は、これを如実に物語っています。

情報化時代の図書館のレファレンス・サービスは何であるのか。このサービスを行なうには私達ライブラリアンは何をすべきであるのか。又何を要求されているのか。あらためて考える必要にせまられています。

国立国会図書館として今やらなければならないこと、今まで問題になり、提起されていて、実現できないでいることが、問題点の項では、その僅な点だけしか述べられませんでした。レファレンス・ツールとしての書誌、

目録作成、マニュアルの作成など、一つ、二つとあげていくと数えきれないものがあります。

これらの問題をかかえて、昭和46年1月末に日本図書館協会参考事務分科会と当館との共催でワーク・ショップ（全国公共図書館参考事務研修会）を開催する計画をたてております。ご協力をお願い致します。

（どい・としこ：参考書誌部一般参考課副主査）

なお図表作成は一般参考課嶋田邦彦が担当いたしました。

帝国図書館・国立国会図書館蔵書目録一覧

- 帝国図書館和漢書名目録 13冊
第1編（明治26年現在）—第7編（昭和16年—24年3月現在）
- 帝国図書館和漢書分類目録 7冊 明治32年現在
- 帝国図書館和漢書件名目録 2冊 明治33—36年、37—40年
- 帝国図書館洋書目録 7冊
- 帝国図書館・国立国会図書館和漢図書分類目録 昭和16—24年3月 1冊
- 国立国会図書館蔵書目録 6冊
昭和23—33年 第1編—4編、書名索引
昭和34—43年 第2編 社会科学(L)
- 国立国会図書館蔵書目録 洋書篇 I, II 2冊
- 国立国会図書館和雑誌目録稿
- 欧文逐次刊行物所蔵目録 1968
- “ 分類目録 1968
- 国立国会図書館所蔵新聞目録（昭和44年11月1日現在）
- 国立国会図書館支部上野図書館和漢書名・分類目録 古書之部 2冊
昭和18年1月—24年3月（書名）
昭和24年4月—33年12月（分類）